



# 栗原小だより

〒123-0843 足立区立西新井栄町 2-10-18

<https://www.adachi.ed.jp/adkuha/>

令和 6 年度

12月号

足立区立栗原小学校

校長 田中 泰徳

TEL 3887-6391

## 「江戸しぐさ」から学ぶこと

副校長 横山 謙悟

日本の伝統文化の一つに「江戸しぐさ」があります。「江戸しぐさ」とは、江戸時代に人々が日常的に行っていた動作や立ち居振る舞いのことです。例えば、お辞儀の仕方や歩き方など、現代にも通じる美しい所作がたくさんあります。なかでも、雨の日に狭い路地ですれ違う際に、たとえ自分がぬれても、傘のしずくが相手にかからないように、相手と反対側に傘を傾け合った「傘かしげ」は、自分のことだけでなく相手を意識した行動であるといえます。自己犠牲することがよいというわけではなく、自分・相手双方が少しずつ我慢することで快適に生活するための知恵が現れた行動です。

この行動によって、日本の文化を深く理解できたり、美しい所作を身に付けることができたりします。また、継続していくことで、心のゆとりをもつことができ、人とのコミュニケーションが円滑になるなどの効果があります。

江戸しぐさを学ぶことは、子供たちの心身の発達に良い影響を与えることにとどまりません。丁寧な言葉遣いで挨拶をすることなどを実践することで、自分が属するコミュニティ(小さいものでは家庭、大きいものでは地域など)の活性化にもつながると考えます。

11月 はふれあい月間でした。「明るく楽しい学校標語」作りにも取り組みました。自分さえよければそれで構わないという考えではなく、お互いに気持ちよく生活しようと心がければ、嫌な思いをしたり陰湿ないじめが起きたりはないと考えます。「自尊感情」「個性の尊重」という言葉の本来の意味をはき違え、自分の都合のいいように解釈して行動することなく、相手を意識し気配りのできる生活を送り、思いやりのある児童に育つよう指導してまいります。



「傘かしげ」  
裏方としてお仕事をされている本校の主事さんにモデルをお願いしました。

## 鋸南自然教室

5年担任

3日間、子供たちにとって初めての宿泊行事となる鋸南自然教室に行きました。鋸山登山や磯遊び、砂山でのサンドスキー、キャンプファイヤー、マザー牧場など、足立区では味わえない自然の雄大さを満喫することができました。子供たちにとって、記憶に残るよい思い出になったようです。学園内でも班で助け合いながら、それぞれの役割を果たそうと頑張る姿が見られ、頼もしさも感じました。3日間で学んだことを今後の学校生活に活かしていくよう指導していきます。